

優 秀 賞

地球温暖化対策部門

石上車輛 株式会社

自動車リサイクルの森プロジェクト
～あなたの愛車が新たな樹木へとよみがえる～

2008年11月に美幌町、NPO法人コンベンション札幌ネットワークと植林に関する三者協定を締結し6ヘクタール(カラ松で約12000本分)の植林地を確保した。

その上で、廃車を依頼するお客様に植林証書を発行のうえ、1台につき1本のカラ松を美幌町に植林し20年間管理する「石上車輛 自動車リサイクルの森」を造成していく。

また、自動車中古部品の普及と販売を積極的に推進するなど、二酸化炭素の排出抑制・吸収だけでなく、お客様の環境保全への意識啓発に大きく貢献している。

更には、不法投棄されたタイヤの撤去や全事業所周辺でボランティアの地域清掃活動を行うなど、地域に根ざした環境保全活動にも取り組んでいる。



地球温暖化対策部門

ウインド・カー 株式会社

環境に優しいカーシェアリング事業

会員が共同でクルマを所有し、必要なときだけ利用するカーシェアリング事業を2005年に開始し、政令指定都市の中では全国初の「カーシェアリング特区」となった札幌市を皮切りに、自動車の“所有”から“共有”をテーマに掲げて「脱マイカー」を推進し、二酸化炭素および自動車排出ガスの発生抑制に貢献している。

さらに、分譲マンションや賃貸マンションにもカーシェアリングの導入を推進し、環境負荷の低減のほか、車所有の維持費節約や駐車場問題の解決など、都市生活者に対して、持続可能な社会に向けた新たなライフスタイルを提案したことを評価する。



循環型社会形成部門

おもちゃクリニック

おもちゃ修理及び手作りおもちゃ出前展示実演

2002年から、市内5カ所でおもちゃの無料修理活動を定期的に行うほか、メール等で事前に相談すれば、宅配で送られた場合も修理に応じている。

また、木工やペットボトルを再利用した手作りのおもちゃの展示・実演は子どもから大人まで好評であるだけでなく、子どもに「物を大切に作る心」「物を作る喜び」などを喚起している。

これらの活動により、廃棄物の発生抑制やリユース等の推進による環境保全だけでなく、幼少期からの環境意識の醸成・定着、さらには「世代間のコミュニケーション活性化」にも貢献している。



循環型社会形成部門

北海道ブックシェアリング

北海道における図書館の再活用運動

家庭や団体などで不要になった図書を市内4カ所で行き取り、札幌市立信濃中学校の空き教室を利用した「図書再活用ネットワークセンター」で補修・クリーニング等を行い、常時8000冊余りの図書を開架している。

図書を必要とする団体は、事前に申し込みのうえ、この中から自由に選ぶことができ、1団体1回につき最大120冊まで無償で受け取ることができる。

こうした活動により、学校図書館、保育園などに8000冊余りを寄贈するなど、リユースによる環境保全への貢献や意識向上だけでなく、幼少期の活字離れの抑止のほか生涯学習の推進にも貢献している。



環境保全・創造部門

北海道札幌平岸高等学校デザインアートコース

札幌市円山動物園×札幌平岸高校 環境メッセージアート作品の上映、展示活動

円山動物園の絶滅危惧種の動物を中心に学習し、動物をモチーフにした環境メッセージアートを作成し、Podcast(動画データ配信)として発表。また、各種イベントやコンテストで環境問題に関する様々な映像作品を自ら発表或いは紹介され、高い評価を得ている。

さらに、環境メッセージ入りのオリジナルエコバックを展示・販売し、動物のエサ代として寄付するなどの活動により、生徒の環境意識の向上だけでなく、年齢や地域を超えた幅広い支持・共感を集め、環境問題への意識啓発等に貢献している。



環境保全・創造部門

北海道札幌藻岩高等学校

札幌藻岩高校の環境教育

2006年度から「地球にやさしい生徒は、人間にもやさしくできる」という考え方のもと、「環境教育」を実践。

科目横断型の「環境学習ノート」を作成し各教科で環境を題材にした授業を実施するほか、全校挙げての環境を意識した学校祭の開催、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」の認定による北大研究室での高度な実習、道内の高校では初めて環境マネジメントシステムスタンダード(HES)の取得などの活動により、環境の知見を有する多様な人材を育成・輩出し、現在の環境貢献はもとより、未来の環境への貢献が期待できる。

